



平成 18 年 7 月期 第 2 四半期財務・業績概況（連結・個別）

平成 18 年 3 月 3 日

上場会社名 日本駐車場開発株式会社 (コード番号: 2353 東証第一部・JASDAQ)
 (URL <http://www.n-p-d.co.jp>)
 代表者役職名 代表取締役社長 巽 一久
 問い合わせ先責任者役職名 取締役副社長 氏家 太郎 TEL (06) 6227 - 6777
 決算取締役会開催日 平成 18 年 3 月 3 日

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 連結及び持分法の適用範囲の移動の有無 : 無

2. 平成 18 年 7 月期 第 2 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 11 月 1 日～平成 18 年 1 月 31 日）

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 7 月期 第 2 四半期	1,361	26.6	247	20.5	521	160.2	309	176.2
17 年 7 月期 第 2 四半期	1,076	26.2	205	36.9	200	24.8	112	-
(参考) 17 年 7 月期	4,512		979		1,019		612	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 7 月期 第 2 四半期	91	42	89	88
17 年 7 月期 第 2 四半期	33	59	32	56
(参考) 17 年 7 月期	183	13	178	76

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

平成 16 年 11 月 19 日付で 1 株を 21 株に株式分割を行っております。なお、平成 17 年 7 月期第 2 四半期及び平成 17 年 7 月期の 1 株当たり（四半期）当期純利益及び潜在株式調整後 1 株当たり（四半期）当期純利益は、株式分割が期首に行われたものとして算出しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 2 四半期におけるわが国の経済は、一部に原油価格の高止まりが見られた一方で、日経平均株価の堅調な上昇に見られるように企業の収益改善し、景気の回復は揺ぎ無いものとなりました。

駐車場市場におきましては、不動産流動化の流れにより収益重視傾向が一段と強くなり、また都心部の地価の上昇により、優良な物件のファンドによる取得が続くなど当社グループにとって追い風となる事業環境が続きまして。

当第 2 四半期において、東京を中心に月極物件が増加し、直営事業売上は 1,125,417 千円（前年同期比 16.8% 増）となりました。リーシング売上は 31,825 千円（前年同期比 2.6% 減）となりました。マネジメント売上においては、東京、横浜の時間貸し物件が順調に稼働した結果、97,432 千円（前年同期比 103.0% 増）と大幅に増加いたしました。VA サービス売上においては、地方主要都市などのコンサルティング案件が増加したことにより 41,066 千円（前年同期比 55.2% 増）となりました。また、未公開会社や上場会社の支援を行う IPO・IR コンサルティング事業が順調に立ち上がったことにより、IPO・IR コンサルティング事業売上は 52,270 千円となりました。これらにより全社での売上高は 1,361,935 千円（前年同期比 26.6% 増）となりました。

時間貸駐車場を月極駐車場に転換するなど、地域特性に応じた効率のよいサービスを行いましたが、時間貸し物件数の増加により運営スタッフの人件費が増加したため、売上総利益率は 41.8%（前年同期より 1.1 ポイント悪化）となりました。

事業拡大のための人材への投資や情報システム・セキュリティ面での投資を行い、コーポレート・ガバナンス強化、IR 活動や CI 戦略を強化するなど、将来に向けた投資を積極的に行いました。その結果、売上高販管費比率は 23.6%（前年同期より 0.1 ポイント悪化）となり、営業利益は 247,852 千円（前年同期比 20.5% 増）となりました。支払利息、新株発行費など営業外費用 5,585 千円が発生したものの、投資有価証券売却益、匿名組合投資利益、受取配当金などの計上により、営業外収益は 279,550 千円となり、経常利益は 521,817 千円（前年同期比 160.2% 増）と大幅増益となりました。以上の結果、第 2 四半期純利益は 309,769 千円（前年同期比 176.2% 増）となりました。

平成 18 年 7 月期第 2 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 11 月 1 日～平成 18 年 1 月 31 日）

(1) 経営成績(個別)の進捗状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 7 月期 第 2 四半期	1,339	72.0	258	85.3	532	296.8	315	328.9
17 年 7 月期 第 2 四半期	778	20.3	139	23.6	134	9.0	73	-
(参考) 17 年 7 月期	3,750		700		741		450	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 7 月期 第 2 四半期	93	19	91	63
17 年 7 月期 第 2 四半期	22	05	21	37
(参考) 17 年 7 月期	134	66	131	44

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

平成 16 年 11 月 19 日付で 1 株を 21 株に株式分割を行っております。なお、平成 17 年 7 月期第 2 四半期及び平成 17 年 7 月期の 1 株当たり(四半期)当期純利益及び潜在株式調整後 1 株当たり(四半期)当期純利益は、株式分割が期首に行われたものとして算出しております。